

パレット
新潟店

開店25周年

福祉の拠点さらに充実

新潟県社会福祉協議会が運営する「福祉の店パレット新潟店」（新潟市中央区上所・新潟ユニゾンプラザ1階）が開店25周年を迎えました。現在は、品ぞろえも豊富になり、雑貨類から食品まで県内の91福祉施設の障がいのある人たちが心を込めて丁寧に作った製品を販売しています。併せて、就労体験も受け入れていま



店内には各施設の利用者が丹精込めた製品がいっぱい

明るい店内には、裂き織りバックや草履など布製品や小物類が並びます。かわいらしい人形たちも来店を待っています。クリアファイルやタオル、ハート形固形石けんなども好評です。食品では売れ筋のシフォンケーキやスコーンをはじめ、クッキー、ごませんべい、さつまいもパイや瓶詰めのジャムやコンポートも人気商品です。

月曜日と木曜日、金曜日の昼食時には、パンの販売も行われています。今後はユニゾンプラザ館内のイベントに合わせ、併せて弁当の販売も計画しています。

就労体験は、1週間の内5日間ほど施設の利用者に販



昨年11月に朱鷺メッセで開催された福祉・介護・健康フェアでの「パレット周年祭」

売の手伝いをお願いし、就労への助走してもらっています。「パレット新潟店」は1992（平成4）年1月、旧ジャスコ新潟店内（新潟市西区青山）で、県内の19福祉施設の製品などを取り扱う店として始まりました。「パレット」の名前は、パレット上で絵の具が混ざり合うように、店を拠点にさまざまな人たちの出会いや触れ合いが生まれ、福祉への理解につながってほしいとの願いが込められています。

Information Red Feather 赤い羽根情報

「募金百貨店」贈呈式

募金百貨店「ハッピーハートにいがたプロジェクト」第4弾の募金贈呈式が12月20日、（株）ウオロクホールディングス本社で行われました。



ウオロクの本多伸一社長は、寄付金93万612円の目録を小田敏三会長に手渡し、「この募金を地域福祉に役立ててほしい」と話しました。

このプロジェクトは、期間中にウオロク全店で販

売された、サントリーの飲料やハーゲンダッツアイスの売り上げから、1商品につき1円の寄付を頂いたものです。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

「糸魚川市大規模火災義援金」募集

糸魚川市中心部で発生した糸魚川大火で被災した方々を支援するために、義援金の募集を3月31日まで行っています。ご協力をお願いします。

振込先 第四銀行 白山支店 普 1660049
北越銀行 県庁支店 普 2005705
大光銀行 新潟支店 普 3043002
ゆうちょ銀行 00140-4-587401
(福) 新潟県共同募金会

※ゆうちょ銀行のみ、当会の名称の後に「糸魚川市大規模火災義援金」と記入してください。

“こんにちは”民生委員・児童委員です ～民生委員制度創設100周年を迎えて～



Vol.2 民生委員・児童委員の役割

住民の立場に立ち、地域福祉を担うボランティア

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。また、民生委員は、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。給与の支給はなく、ボランティアとして活動しているもので、任期は3年です（再任が可）。

地域見守る身近な相談相手、

専門機関へのつなぎ役

民生委員・児童委員は自らも地域住民の一員として、担当の区域において高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけなどを行っています。医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じます。相談内容に応じて、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になり

人格・識見が高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の増進に熱意のある人など、民生委員法に規定された要件を満たす人が、市町村に設置された民生委員推薦会によって都道府県知事に推薦され、都道府県に設置された地方社会福祉審議

会に意見を聴いた後に厚生労働大臣に推薦、厚生労働大臣が委嘱します。

全国で約23万人

全国共通の制度として、

子どもや子育ての支援を専門に担当

主任児童委員は、子育て

をしています。

ます。民生委員・児童委員には法に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。

を社会全体で支える「健やかに子どもを産み育てる環境づくり」を進めるために、平成6年1月に制度化されました。子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員で、全国で約2万1千人が活動

主任児童委員は、それぞれの市町村にあって担当区域をもたず、区域担当の民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。

3つの基本姿勢

社会奉仕の精神

……社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努めます。

基本的人権の尊重

……民生委員・児童委員には、民生委員法第15条に定められた守秘義務があります。活動を行うにあたって、相談内容や個人の秘密を守り、個人の人格を尊重します。

政治的中立

……職務上の地位を政党又は政治目的のために利用しません。

福祉の店 味わい散歩

はまかぜ

社会福祉法人 新潟太陽福祉会

(新潟市北区太夫浜字下浜山675)

◇9時～16時

◇土・日・祝日休み

◇TEL (025) (2558) 6116



自ら育てた食材で好評の漬け物作り

漬け物一番人気は初夏から秋にかけて作られる季節限定の「メロンのからし漬け」。地元名産のマスクメロンの摘果した実を使い、ピリツとした味わいが身上。利用者が丁寧へタを取り、洗い、漬け込んでいます。

施設の栄養士の発案による「南浜西瓜のべっこう漬」も好評。同じく地元産の摘果したスイカを3カ月以上塩漬け、塩抜き後にキュウ



りと一緒に、しょうゆべーすの漬け汁に漬け直した一品。パリパリした歯ごたえで、酒のさかなにも、ご飯のおかずにもピッタリ。季節に合わせた漬け物作りを取り組み、食材は地元農家の協力と利用者らが畑で育



てたものを活用している。

大豆と塩とこうじだけを使った昔ながらの「手造りみそ」も売れている。施設まで買いに来る人も多く、このみそを使った各種「調理みそ」も評判が良い。「大葉」と「青唐辛子」が売れ筋。みその仕込みは11月から5月の連休前まで行われる。月2回のペースで、1回に約80キロを仕込むという。

「メロンのからし漬け」が1袋180円、「調理みそ」の小さな容器1個200円などと安価なことも大きな特長。同地区の菓子工房ひまわり本店をはじめ、東区と新発田市の農家の直売所・とんとん市場、北区のげんき村でも購入できる。

新潟ユニゾンプラザ 情報

主な貸室の紹介

【調理実習室・試食コーナー】



料理教室・調理実習などにご利用ください。

また、作った料理を食べられるように、試食スペースが用意されています。

【広さ】 66㎡
調理台が4台と講師用の台が1台設置されています。その他、調理器具・食器等も用意されています。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール・会議室・研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL : <http://www.unisonplaza.jp/>

【大会議室】



【定員】 120名

【広さ】 285㎡

200インチの大型電動スクリーンを設置しております。

研修会や上映会など多岐にわたり大画面ならではの迫力ある映像が映写できます。

福祉の現場

本多 弥さん

(燕市デマンド交通予約センター長)

No.18



平成25年度から始まった燕市の予約制乗合ワゴン車「おでかけ きららん号」。その予約受付と配車業務を交代で担当する8人のオペレーターを統括する。パソコン画面を前に、利用者からの電話に対応するオペレーター。壁面には6台の車の予約状況が掲示されている。2代目センター長として間もなく3年目を迎える。

「安全運行で気持ち良く使っていたきたい。冬場は特に神経を使う。用件だけを聞いて、電話を切るのではなく、オペレーターには親切で丁寧な対応を心がけてもらっている」
 そのためにも「オペレーターの職場環境整備が第一。側面から支援したい」と毎日のようにある「クレーム処理」も重要な業務。
 利用者の7割近くが70代と80代だけに、物忘れや勘違いも多

安全運行と快適な利用を心掛ける

「迎えに行きたくない」と運転手から電話がある一方、「来ない」「なぜ、予約が取れないのか」などと利用者からの電話もある。利用方法など繰り返し説明して、ようやく分かってもらえるケースもある。

クレーム・要望などは、日誌に記録し、市当局や運行業務に当たるタクシー会社と情報を共有・連携して、それらの対処にあたる。

また、「休み明けは電話が多い。身の上話などをする人も」。オペレーターは、聞き役も務める。

マイカーなど持たない高齢者にとつて、片道300円で玄関口から最も需要の多い医療機関まで送迎してくれる「きららん号」は心強い味方。「常連も多い。一人暮らしの方には大事な交通手段だと思う」。1日の利用者は平均150人を超え、女性が8割を占める。利用登録者は3879世帯・8141人(28年3月現在)。一昨年7月から弥彦村も運行エリアとなった。
 市職員OBで、センター業務を受託している燕市社会福祉協議会の職員である。

新潟ユニゾンプラザ ライブラリー NEWS



急増！高齢者をねらう
 特殊詐欺・悪質商法

訪問購入・点検商法・投資詐欺

- 【文部科学省選定】
- ◆制作 株式会社 映学社
- ◆監修 消費生活コンサルタント 木村嘉子
- ◆時間 19分

【内容】
 近年、「訪問購入」や「点検商法」など高齢者をねらった悪質詐欺が横行しています。悪質業者は言葉巧みに不安をあおり、親切にして信用させ、年金・貯蓄などの大切な財産をねらっています。
 この作品では、様々な特殊詐欺について、また、それらの被害状況などを紹介します。また、高齢者に多いトラブル事例や、それらの手口についても説明しています。

「ご意見・ご感想お寄せください」
 「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
 ◆TEL 050-85575 新潟市中央区上所2-2-12
 ◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
 ◆ファクス 025-281-5528
 ◆Eメール oasisu@fukushininigata.or.jp

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514
 一紹介した資料のほか、福祉や女性に関する図書やDVDの貸出をしています一

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
 新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
 ☎ 025-281-5520
 発行人／関谷 政友
 定 価／5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
 平成29年2月1日発行 (毎月1日発行)
 昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
 印刷／島津印刷㈱